

Modis VSN、茨城県銚田市「みらい人材育成事業業務」を受託

- ICT 教育を通じ、新しい働き方の実現と雇用創出を目指す -

【2020年12月16日 東京】

人財サービスのグローバルリーダー、アデコグループのグループ会社で、IT・R&D およびコンサルティング領域のエンジニア派遣事業ブランド Modis VSN を展開する株式会社 VSN（本社：東京都港区、代表取締役社長：川崎 健一郎）は、この度、茨城県銚田市（以下、銚田市）の「令和2年度銚田市みらい人材育成事業」を受託いたしました。本事業において Modis VSN は実践的な ICT 教育の提供を通じ、地域の雇用機会の創出および地域コミュニティの活性化を促進し、持続可能な新しい地域づくりを支援してまいります。

日本国内では、人工知能（AI）や IoT（モノのインターネット）の普及がもたらす第4次産業革命により、私たちの生活様式や経済社会に大きな変化が起きています。しかし、人口流出や少子高齢化といった課題を抱える地方自治体においては、ICTに関する知識や ICT 技術を活用できる人財の不足等により、十分な活用がなされていないのが現状です。

そこで、ICT 技術教育に強みをもつ Modis VSN が銚田市において、雇用ニーズに対応した研修コンテンツを企画・提供するとともに、テレワークなど場所と時間にとらわれない働き方ができる人財の育成と、その後の就業支援を行います。また、ICT 教育を通じて地域住民が交流する新たな場づくり等を創出し、地域コミュニティの活性化も促進、持続可能な街づくりを目指します。

Modis VSN は、2019年より、エンジニア社員が全国各地の地方自治体へ赴き、課題解決施策を構想するプロジェクト「地方創生 VI」をスタートさせました。この活動を通じ、銚田市の地域住民・自治体職員と情報交換を行いながら、地域課題の解決に向けたさまざまな施策支援を行っています。本事業にとどまらず、今後も高い問題解決能力を有する Modis VSN のエンジニア社員が地域の方々と協働し、テクノロジーを駆使しながら自治体における ICT の活用やデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する施策を計画・実施してまいります。

今後も Modis VSN は、「ヒューマンキャピタル（人財）の創造と輩出を通じて、人と社会の喜びと可能性の最大化を追求する。」という理念のもと、エンジニアの能力開発を通じ、地域の特性を活かしたサステナブルな地方創生の実現と、社会全体の発展に貢献してまいります。

株式会社 VSN について

株式会社 VSN は、人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループの一員で、IT・R&D およびコンサルティング領域のエンジニア派遣事業ブランド Modis VSN を展開しています。全国に4,500名以上の正社員エンジニアを擁し、取引先企業へ対して高い技術力と幅広い経験を生かし、課題解決に貢献しています。また、Modis VSN エンジニアが経営と現場、両方の視点からお客様の本質的な事業課題を解決する独自サービスである「バリューチェーン・イノベーター」により、企業の生産性向上を支援しています。

【Modis VSN ウェブサイト】 <https://www.modis-vsn.jp/company>

【「バリューチェーン・イノベーター」について】 <https://www.modis-vsn.jp/service/vi>

【報道関係者からのお問い合わせ先】

アデコグループジャパン

広報部 Tel.050-2000-7024